

■ 第2回等々力緑地再編整備計画推進委員会（書面開催）における意見・質問一覧

各委員からの意見等の総数は83件となりましたが、非公表資料（資料6、資料7）に関するものを除いているため、掲載している意見は20件となります。

※ 対面で開催された場合における事務局の応答に相当するものであり、爾後、庁内調整等の結果、本市の対応内容に変更が生じる可能性がある点、ご了承ください。

No.	該当箇所	委員名	意見・質問	事務局コメント※
1	資料4	窪田委員	地元で必ずしも全面同意でない界隈の方々とのやりとりを、今後どのように進めていくかという点について、ご対応を確認したい。	関係団体等からの意見も踏まえた緑地内の施設整備については、次回以降、市としての考え方を示したいと思います。
2	全体	窪田委員	植生や自然という点が担保できるところに、（公園ではなく）緑地、という当該場所の意味があると思われる。緑地としての可能性は、気候変動の局面においても非常に重要だと思われる。今回のスキームの中でも、不確実な未来に向けて、なお確保しておくべき緑地としての機能の整理が重要ではないか。その点についての整理をお願いしたい。	緑地については、利用者にとっての憩いの空間であるだけでなく、生物の生息空間の保全や防災上の機能もあることから、ご指摘の点も踏まえ、計画改定の中で、検討してまいります。
3	資料5	佐藤委員	低地にあり浸水リスクがあるため避難場所として適当であるのか、という課題もあるように見受けられる。現状の計画では、「地震火災からの広域避難場所ではあるが避難所ではない、台風などの時は浸水するリスクがある」という理解でよいのか。	ご指摘のとおり、等々力緑地は避難所ではなく、広域避難場所となりますので、あくまで一時的な逃げ場所とご理解ください。
4	資料5	佐藤委員	周辺住民の浸水危険が高い時の避難場所はどこなのか。数は十分なのか。	浸水時の避難場所は、近隣の小中学校において垂直避難する計画となっております。
5	資料5	佐藤委員	本来は、公園内の既存施設で高さがある場所、新設施設の高い場所や屋上、人工地盤の整備など、火災からも浸水からも安全な場所を設けるような機会（＝マルチハザードな避難場所であり避難所としても機能できる）とすることを検討すべきだと思う。	災害時には、御指摘のような対応が必要であると考えておりますので、今後、計画改定の中で検討してまいります。
6	資料4	澤井委員	【質問】メインアリーナ、スタジアム利用の実態については入場者数のデータがあるか。	次回委員会の参考資料として示したいと思います。 なお、利用団体、利用形態ごとのデータは把握していません。
7	資料4	澤井委員	（等々力町内会）近隣住人の利便性の向上＝公園利用者の利便性の向上と考えることができればベストである。	ご指摘の点も踏まえて検討いたします。 なお、関係団体等からの意見も踏まえた緑地内の施設整備については、次回以降、市としての考え方を示したいと思います。
8	資料4	澤井委員	「興行専用のアリーナ」とは一定の観戦者が集まる（観客席をきちんと使用する）イベントのための施設ということである。観客が集まらないのであればアリーナで行う必然性はない。市内有数の集客施設としてプレイサンダースなどトップレベルの競技会もしくはコンサートなどのイベントが優先されるように計画をたて、有効活用され多くの市民が利用する、観戦に訪れるように運用する、ということだと思われる。	ご指摘の点も踏まえて、市としてアリーナに求める機能や役割等について整理、検討いたします。 なお、関係団体等からの意見も踏まえた緑地内の施設整備については、次回以降、市としての考え方を示したいと思います。
9	資料4	澤井委員	特定の競技にかけられるコストには限りがある。本来、必要な器具等は競技団体が自分で用意、保管して大会の際に養生すべきと考える。また国際大会、全国大会のような、数年数十年に1度しかないイベントのためにコストをかけることも難しい。競技団体の都合による要望に対してはそれが市民一般の利益にかなうかどうか、費用対効果も考えて対応すべきと考える。	ご指摘のとおり、利用団体等の要望の全てに応えることは困難であり、市としてアリーナに求める機能や役割等について整理を進めてまいります。 なお、関係団体等からの意見も踏まえた緑地内の施設整備については、次回以降、市としての考え方を示したいと思います。

No.	該当箇所	委員名	意見・質問	事務局コメント※
10	資料4	澤井委員	多くの団体の要望に同時に応えることは難しいであろう。メインアリーナは観戦者を含めた多くの市民のための施設であり、競技団体の競技者都合の要望に対しては冷静に対応すべきと考える。ただし、言い換えると毎年定期的に行われるイベントで一定の観戦者（市民）が集まるような団体のイベントであれば優先的に利用していただきたい。競技団体には、ぜひそうした経営努力とプレゼンテーションを期待したいところである。	ご指摘のとおり、利用団体等の要望の全てに応えることは困難であり、市としてアリーナに求める機能や役割等について整理を進めてまいります。 なお、関係団体等からの意見も踏まえた緑地内の施設整備については、次回以降、市としての考え方を示させていただきます。
11	資料4	澤井委員	スタジアムは観戦者のための施設であり、競技者の個人利用への配慮の優先順位は低くならざるをえない。個人利用のような時間帯が増えれば増えるほどスタジアム経営は難しくなる点はご理解いただく必要がある。	陸上競技場の利用については、団体利用が優先されており、予約が無い日を個人利用日として設定しています。 なお、関係団体等からの意見も踏まえた緑地内の施設整備については、次回以降、市としての考え方を示させていただきます。
12	資料4	澤井委員	駐車場・アクセスに関して、降雨時の車いす・ベビーカー利用者への配慮が必要との意見は参考になると思う。良い提案である。	ご指摘のとおり、車いすやベビーカー利用者への配慮は必要と考えており、対応について検討してまいります。 なお、関係団体等からの意見も踏まえた緑地内の施設整備については、次回以降、市としての考え方を示させていただきます。
13	資料4	澤井委員	緑地全般に関する「市内の他の施設と合わせた全体最適を目指すべき」という意見はまったくその通りだと思う。アリーナやスタジアムについては観戦者としての障がい者への配慮は必要である。	ご指摘の点を踏まえて、等々力緑地における導入施設やバリアフリーへの対応について検討してまいります。 なお、関係団体等からの意見も踏まえた緑地内の施設整備については、次回以降、市としての考え方を示させていただきます。
14	資料4	澤井委員	全体的に、自分たちの競技の都合、競技者目線による主張のみの団体と、市民全体の利益に配慮して意見を述べている団体があり、興味深く拝見した。観戦型のスポーツ施設（スタジアム、メインアリーナ）を備え、一般市民の憩いの場でもある等々力緑地については後者の意見は有用かもしれない。また前者にも後者のような姿勢を持っていたことが望ましいと考える。	ご指摘の点も踏まえて、市全体の中で必要な公園施設を整理した上で、等々力緑地における導入施設を検討してまいります。 なお、関係団体等からの意見も踏まえた緑地内の施設整備については、次回以降、市としての考え方を示させていただきます。
15	資料4	島田委員	アンケートは各方面を対象とされ大変だったと思う。回答から皆さんの期待の大きさが伺えるところである。しかしながら、全ての要望に応えることは現実的に困難かと思う。その一方で、今すぐ出来ることもあるかと思う。問題が大きいため、今後説明責任も生じるかと思う。この辺りに関して、ボタンのかけ違いなどが生じないよう説明を上手にされ、信頼関係を引き続き醸成する必要があると思う。なお、全くアンケート対象の諸団体に参加していない極一般の市民等への配慮も重要かと思う。	ご指摘の点を踏まえて検討いたします。 また、関係団体等からの意見も踏まえた緑地内の施設整備については、次回以降、市としての考え方を示させていただきます。 なお、適宜、説明会等の機会を設けるとともに、「再編整備実施計画」の改定案はパブリックコメントに付すことにより、広くご意見を頂戴する考えです。
16	資料4	中西委員	関係団体等からの意見については、無駄なものはないと思うが、公園というパブリックな空間において、災害対応など、優先すべき視点を明示し、取り下げてもらえるものがないか、意見交換のなかで汲み取ってほしい。落とすところを見つけてるのが困難であって、大変であるが、市には頑張ってもらいたい。一番大事なことは、コロナを含む、災害への対応性であろう。これへの対応上要請に応じがたい、ということであれば、先方の理解も得られるのではないかと考えている。	ご指摘の点を踏まえて検討いたします。 なお、関係団体等からの意見も踏まえた緑地内の施設整備については、次回以降、市としての考え方を示させていただきます。

No.	該当箇所	委員名	意見・質問	事務局コメント <sup>※</sup>
17	全体	松本委員	民間事業者の財力・知力に頼るだけでなく、同時に市民参加型の公園づくりプロジェクトを立ち上げ、次世代を担う子ども・若者が参画して故郷の緑地公園と一緒に育てていこう！という意識改革があれば、時代の流れに乗り遅れる心配もないと思う。	多様な主体と連携した持続可能な等々力緑地を実現するためには、行政、事業者、利用者団体、周辺町会、市民などによる等々力緑地グリーンコミュニティづくりが重要であると考えております。 市内の生田緑地における事例等を踏まえながら、必要な体制等につきまして、計画策定の中で検討してまいります。
18	全体	松岡委員	等々力緑地にキャッチフェーズが欲しい。 等々力緑地は基本的にはスポーツ公園だと思いますので、「スポーツオブプライド＝等々力緑地@かわさき」等。公募でも良いかもしれない。	現段階でキャッチフェーズは検討しておりません。 ただし、付与する場合には、公募によるという点は、参考とさせていただきます。
19	全体	松岡委員	外来語には注釈をつけて欲しい。 ・SPC (special purpose company = 特別目的会社) のように。 また、 ・BTO方式 (build transfer operate = 説明文を入れる・・・) のように例示して欲しい。 ・VFM ・PPP ・PFI ・パークPFI ・アクセシブル&インクルーシブ ・グリーンインフラ ・パークマネジメント 等々 (すでに文章中で説明されているものも含む)	改定案においては、専門性が高いと考えられる用語については、注釈もしくは用語集を記載することを検討いたします。
20	全体	松岡委員	現地見学会が開けると良い。	新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、第3回までに開催してまいりたいと考えております。

等々力陸上競技場利用状況

ア) 年間使用件数

	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
Jリーグ関係	24件	22件	22件	36件	40件	47件
サッカー関係（Jリーグ除	13件	29件	35件	32件	35件	16件
陸上競技大会	20件	31件	31件	29件	36件	27件
陸上関係その他	9件	31件	25件	25件	16件	28件
その他大会等	5件	8件	11件	14件	15件	16件

イ) 年間入場者数（個人利用含む）

	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
年間入場者数（個人利用含む）	432,757人	624,429人	615,777人	707,331人	591,515人	557,443人

※平成26年度は12月～3月14日まで、平成30年度は12月～3月31日まで、令和元年度は3月が利用停止

とどろきアリーナ利用状況

ア) 年間利用者数

	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
個人利用者数	168,712人	183,575人	180,679人	196,384人	196,545人	173,113人
団体利用者数	728,642人	697,495人	736,710人	799,068人	999,257人	904,476人
合計	897,354人	881,070人	917,389人	995,452人	1,195,802人	1,077,589人

イ) 年間利用件数

	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
団体利用件数	10,825件	10,741件	10,587件	11,476件	11,504件	9,672件

※令和元年度は、令和元年東日本台風、新型コロナの影響による一部施設の利用停止の影響あり